まつ　かぜ

松風

➢ *校訓：かしこく・やさしく・たくましく*✓

学校通信　臨時号
令和８年１月 26 日
日立市立 大沼小学校
在籍数　　488 名

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校教育活動につきまして、ご理解・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

２学期実施の「学校評価アンケート」におきましては、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。Forms により 293 件(79%)の回答をいただきました。

学校評価アンケート（12 月）の結果をお知らせいたします。

■ 保護者アンケートの結果

質問事項		回答(%)			
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
Ⅰかしこく	学校は、わかりやすい授業を行っている。	43.3%	52.2%	3.8%	0.7%
	お子さんは家庭学習で、自分で計画を立て、自分にとって必要な勉強をしている。	22.5%	38.9%	30.4%	8.2%
	学校は、お子さんが進んで読書をするための指導をしている。	20.1%	23.2%	37.9%	18.8%
Ⅱやさしく	お子さんは、学校は楽しいと感じている。	58.7%	29.0%	10.2%	2.0%
	学校は、多様な体験を通して、何事にも挑戦する気持ちを育てている。	39.9%	53.6%	5.1%	1.4%
	お子さんは、友だちと助け合って生活していると感じている。	50.2%	41.3%	6.8%	1.7%
	お子さんは、自分から挨拶をしたり、正しい言葉を使ったりできると感じている。	21.8%	54.3%	21.5%	2.4%
	お子さんは、自分も友だちも大切だと感じている。	61.8%	31.4%	6.5%	0.3%
	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。	30.7%	52.6%	13.7%	3.1%
	学校は、不登校児童の早期発見、早期対応に努めている。	27.6%	57.0%	12.3%	3.1%
Ⅲたくましく	お子さんは、交通安全に気を付けて、登下校をしている。	54.3%	40.3%	5.1%	0.3%
	お子さんは、地震や火事が起きたときの避難の方法を知っている。	40.3%	50.5%	9.2%	0.0%
Ⅳその他	お子さんは、大人になったらなりたいものがあると話している。	46.8%	31.7%	18.1%	3.4%
	お子さんは、ビオトープで遊んだことがあると話している。（低・中） お子さんは、ビオトープを生かして、SDGsについて学習していると話している。（高）	50.5%	33.8%	13.0%	2.7%
Ⅴ地域連携	学校は、学校運営協議会と協働で学校運営を行っている。	40.3%	54.6%	5.1%	0.0%
	学校はブログやマチコミメールなどで積極的に情報発信をしている。	57.7%	37.9%	3.8%	0.7%
	学校は、大沼コミュニティ推進会及び大沼交流センターと協力した教育活動を行っている。	44.4%	49.8%	5.5%	0.3%
	学校は、地域と連携して、PTAと協働で教育活動を行っている。	47.8%	48.1%	3.8%	0.3%
	学校は、地域と連携して、交通安全や地域防災に取り組んでいる。	49.1%	47.8%	2.0%	1.0%

■ 結果の分析

Ⅰ　かしこく（基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ）

〈良いところ〉

・　「学校は、わかりやすい授業を行っている」という項目において、保護者の皆様から 95.5%（1学期：97.8%）という高い肯定的な評価をいただきました。児童アンケートでも「授業はわかりやすい」との回答が 95%に達し、今年度の目標であった「授業がわかる。95%」を達成することができました。

今後も ICT の効果的な活用や体験活動を重視し、子どもたちが「わかる喜び」や「考える楽しさ」を実感できる、ワクワクする授業づくりに努めてまいります。

〈課題がみられるところ〉

・　「家庭学習で自ら計画を立て、必要な学習に取り組んでいる」という項目では、保護者の皆様の肯定的評価は 61.4%となり、1 学期の 66.5%を下回る結果となりました。児童アンケートでは 91.2%が「取り組んでいる」と回答していますが、目標の 93%には届かず、課題が残る形となりました。

自ら学び続ける力（人間性）を育むことは、これからの時代に不可欠です。本校では現在取り組んでいる「けテぶれ学習」をさらに推進し、子どもたちが主体的に学習習慣を身に付けられるよう、引き続き支援してまいります。

Ⅱ　やさしく（自他の良さに気付き、互いに認め伸ばし合う）

〈良いところ〉

・　「友だちと助け合って生活している」について 91.5%、「自分も友だちも大切にしている」について 93.2%と、保護者の皆様から高い評価をいただきました。児童アンケートでも、それぞれ 94.7%、97%という高い肯定率となりました。

これにより、今年度の目標「思いやりの育成 95%」をほぼ達成することができました。今後も、互いの良さを認め合い、支え合える「共感的な人間関係」を育む教育活動の充実に努めてまいります。

Ⅲ　たくましく（たくましい心と体をつくる）

〈課題がみられるところ〉

・　「地震や火事の際の避難方法を知っている」の項目について、保護者の皆様から 90.8%、児童から 96%の肯定的評価をいただきました。残念ながら、今年度の目標である「100%」を達成することはできませんでした。

防災において「知らなかった」は許されません。この結果を受け、今後は「予告なしの避難訓練」の実施や、タブレット等を活用したクイズ形式での復習など、楽しみながらも真剣に学べる機会を増やします。すべての子どもが、いかなる時も自分の命を守るための最善の行動をとれるよう、防災教育のさらなる充実に努めてまいります。

Ⅳ　その他の教育

・　「ビオトープを生かした学習」について、92%の児童が「遊んだり、自然環境について考えたりしている」と回答しました。また、ご家庭でビオトープの話題を口にする児童も 84.3%に上り、学校での学びが家庭へも広がっていることが伺えます。

本校のビオトープは、今までの本校の環境保全活動が認められ、茨城県より「功績者表彰」を受けました。ビオトープは、本校の教育活動における大きな特色となっています。子どもたちが発見した自然の驚きを、掲示物やタブレットを活用して全校・家庭へ発信する機会を増やし、環境を大切にする心の定着を図ります。

Ⅴ　地域との連携

・　高く評価された地域連携は、本校の大きな強みです。子どもたちは地域の方とのふれあいから安心感と多くの学びを得ています。今後も、地域・家庭・学校の強固な連携のもと、社会全体で子どもたちの成長を見守ってまいります。

■ 自由記述欄のご意見ご質問等について、全体に関わる内容を紹介します。

1 学習面

○ ここ数年の学校教育のやり方で学力が落ちているように思う。上の子たちの時のやり方の方が、学力がしっかり身についていたと思う。今の低学年の子供達の学力低下が本当に心配です。

→ 現在の教育現場では、知識を覚えるだけでなく、それをどう活用するかという「自ら学び続ける力（人間性）」を育むことが、これからの時代を生き抜くために不可欠であると考えられています。本校で推進している「けテぶれ学習（計画・テスト・分析・練習）」は、まさにこの「主体的に学ぶ力」を養うための取り組みです。

以前のような一律の反復学習と比べ、定着までに時間はかかるように見えるかもしれませんが、自分で課題を見つけ、自分に合った方法で学ぶ習慣を身に付けることは、将来にわたって伸び続ける真の学力につながります。今後は、お子様一人ひとりが「基礎的な学力」を確実に身に付けた上で、主体的に学習に向かえるよう、丁寧な指導と支援を継続してまいります。ご家庭におかれましても、お子様が自ら学ぼうとする姿を、温かく見守り励ましていただければ幸いです。

2 生活面

○ 集団下校がなくなりましたが、登校については集団のまま変更はされないでしょうか。時間を守らない子がいると毎回待つことになってしまうこと、指導されることがあっても改善されるのは一時的です。時間に来なかったら出発というのも、姿が見えているのに出発するというのはなかなか難しいと思います。

→ 登校時の待ち時間や、ルールの徹底が難しい現状について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。毎朝、お子様の安全のためにご協力いただいている保護者の皆様には、多大なるご負担をおかけしていることを重く受け止めております。

登校のあり方につきまして、本校の立地は交通量が多く、特に低学年の児童にとっては一人での登校に大きな危険が伴います。こうした環境下で、子どもたちの「安心・安全」を最優先に守るためには、現時点では集団登校を継続することが不可欠であると判断しております。「姿が見えているのに出発するのは心苦しい」という保護者様の優しいお気持ちに甘えることなく、学校として「時間を守る大切さ」を子どもたちに伝えてまいります。安全な登校環境を維持するため、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3 その他

○ ベルマーク集めに協力したいが、集めるタイミングがよく分からないず、家に沢山たまってしまっている。集める時期やタイミングを決めて欲しい。一緒にインクカートリッジも出したい。

→ ベルマーク収集への多大なるご協力、誠にありがとうございます。ご家庭で大切に保管していただいていること、心より感謝申し上げます。

収集のタイミングが分かりにくいという点につきまして、今後、ベルマーク委員会より、改めて活動計画や具体的な回収時期（例：毎月の回収日や提出場所など）について、お便りや掲示物を通じて詳しくご紹介させていただきます。ぜひ、そちらをご確認いただければ幸いです。

カートリッジにつきましては、中央昇降口のベルマークコーナーに回収ボックスがございます。または、恐れ入りますが、お近くの家電量販店や郵便局、自治体等の回収ボックスをご利用いただくなど、個人でのご対応をお願いいたします。

子どもたちの教育環境を整えるため、引き続き無理のない範囲でご協力いただけますと幸いです。

○ 教育活動ではないのですが、連絡フォームや、ここの入力について意見があります。連絡フォームやここの入力の方法だと、改行が出来ない、内容を確認したくても表示をずらすことが出来ないため誤りがないか確認したしたくても出来ません。先生方も実際にスマホから入力したり、表示に見切れがないか確認等したりしてみて頂ければと思います。ビオトープでも質問は、見切れているように見受けられます。今後もたくさんの方々が利用されると思うので、是非ご検討をお願いしたいです。

→ 貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご指摘を受け、職員がスマートフォンにて検証を行いました。現在、システムの仕様上、改行ができなかったり、入力中の全体確認がしにくかったりする状況がございますが、送信された内容は学校側で欠落なく確認できております。

「正確に伝えたい」という保護者様の思いに対し、操作性でご不便をおかけしており申し訳ございません。現状、即時のシステム改修は困難ですが、今後の運用改善の貴重な参考とさせていただきます。

■　学校運営協議会でのご意見

去る１月 16 日（金)、第４回学校運営協議会を開催いたしました。

この会議は、地域代表や保護者代表の皆様に学校の様子をご覧いただき、よりよい学校づくりのためにご意見をいただく場です。

今回は、授業参観と学校評価アンケート結果を通していただいた「本校の強み」と、地域での生活における「今後の課題」についてご報告いたします。

〇 授業の様子：確かな学びと ICT の活用

授業参観を経て、委員の皆様から多くのお褒めの言葉をいただきました。

「一人一人が落ち着いて、課題にしっかり取り組んでいる」 どの子も自分の課題に向き合い、集中して学習に励む姿に高い評価をいただきました。

「質の高い授業の展開」 タブレット端末（ICT）の活用はもちろん、手で触れる具体物や教具を効果的に組み合わせることで、子どもたちの理解を深める授業が実践されているとのご意見をいただきました。

「整えられた学習環境」 教室の掲示物や整理整頓など、子どもたちが学びやすい環境が維持されている点についても、肯定的な評価をいただいております。

このように、学校内では学習規律が保たれ、質の高い学びが着実に進んでいます。

〇 地域での生活についてのお願い：公共のマナー

一方で、地域での過ごし方について、委員の方から「公共の場の使い方」に関するご懸念も寄せられました。

・　大沼交流センター内での騒音や利用態度
・　コンビニエンスストア等の店舗内・敷地内でのマナー（寝転がる、座り込むなど）

残念ながら、一部に公共の場にふさわしくない行動が見られるとのご指摘です。学校でも改めて「社会の一員としてのルールやマナー」について指導いたしますが、ご家庭におかれましても、以下の点についてお子様と定期的にお話しいただければ幸いです。

【保護者の皆様へのお願い】

公共の施設や店舗は、多くの人が利用する場所です。「他の方の迷惑になっていないか」「自分の行動がどう見えているか」を考える想像力を育めるよう、地域でのマナーについて、改めて一声かけていただけますようお願い申し上げます。

委員の皆様からは、「学校での頑張りを、ぜひ地域での生活にもつなげてほしい」という温かい期待を込めたエールをいただきました。 学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちがどこにいても誇れる行動が取れるよう、今後ともご協力をお願いいたします。

いただいたご意見を今後の学校運営に活かし、安心して子どもたちを通わせることのできる学校づくりに努力してまいります。ありがとうございました。